

同年代の生活について

八軒東中学校
森 恵麻

はじめに

私は、シンガポールは小学6年生で行うテストで上位10%の人だけが第3言語を習うことができると知り、どのような勉強や日常を送っているのか興味を持ち同年代の生活について調べました。事前調査では、習う教科について調べました。シンガポールでは、英語、母語(上級中国語・標準中国語・マレー語・タミル語)、科学、数学、上級数学、財務会計、人文科学、デザイン&テクノロジー、芸術、音楽の科目があることが分かりました。けれど、日常生活や流行りなどは分からなかったなので調べたいと思いました。

シンガポールでの調査

勉強方法

家での勉強方法についてバディに聞きました。私のバディはノートを読むことで復習したり、ワークなどを使って練習、間違えたらそこをもう一度練習するそうです。勉強方法は私とあまり変わらないと思いました。勉強時間は、いつもは30分勉強して、テストのときは1時間勉強していると聞きました。

休日・趣味

休日は、ほとんどの日は遅くまで寝たり、勉強したり海外に行くそうです。趣味は、絵を描くこととヴァイオリンと言っていました。猫が大好きで猫やハマっているアニメの夏油傑などを描いていました。(参照1)シンガポールでは、呪術廻戦や鬼滅の刃、チェンソーマンが流行っていました。



参照1



教室の様子

学校生活について

学校は日本よりも始まるのが早く、終わるのも早かったです。バディの学校はキリスト教を信仰している学校でした。中学校は4年間で日本よりも1年長いです。

学校がある日のスケジュール

6時	起床・朝ごはんなど
6時半(車で送迎)	家から出発
7時5分	CHIJセント・ニコラス女子学校 到着
7時半	校歌・国歌
7時35分～8時32分	1時間目(中国語)
8時35分	2時間目(数学)
9時2分～9時25分	軽食取りながらの授業
9時半	2時間目終了
9時33分～10時31分	3時間目(英語)
10時40分～11時半	4時間目(体育)
11時半～12時15分	休憩(食堂で昼食)
12時20分～13時10分	5時間目(文化について)
13時40分	帰宅
帰宅後 (日によって)	ヴァイオリンレッスン、サイエンスプロ ジェクト、日本語学校

2時間目の途中でパンやおにぎりなどの軽食を食べていました。授業では、先生が全員に聞こえるようにマイクを使って話していました。教室は日本よりも少し広かったです。体育の授業では、この日は体操、跳び箱、前転後転をしていました。数学は、日本の比例・反比例の式でしたが日本では書いたことのない難しいグラフでした。

まとめ

シンガポールの学校では、自習のときには先生がいなかったり食堂があり、シンガポール、マレー料理など様々な国の料理を食べることができました。また、シンガポールでは家庭科という科目がないので家事ができない人が多いと聞きました。なので、家にはお手伝いさんがいて色々な家事をしてくれていました。ご飯は、ほとんどが外食やテイクアウトをしていました。日本とは生活習慣が違いますが、バディと話したら趣味や好きなものは日本の中学生と同じだと思いました。

おわりに

今回シンガポールへ行き、ホームステイさせていただき英語とジェスチャーでコミュニケーションをとることができ、より英語の勉強をしようと思いました。また、一緒に行った日本の団員やバディの友達と仲良くなったり、ホストファミリーに色々なシンガポールの食べ物を食べさせてもらえたりなどたくさんの経験ができました。他にも、国立博物館などにも連れて行ってもらいとても楽しかったです。博物館ではシンガポールの歴史をより知ることができました。このような貴重な機会をいただきありがとうございました。

